令和8年度 全国保健師長会代議員総会研修会（福岡）
令和8（2026）年11月7日【配付版】

変化の時代に公衆衛生をどう実践するか
－ 未来を拓く保健師に伝えたいこと －

北海道立衛生研究所 所長
（国立保健医療科学院 名誉院長）
曽根　智史

Public Healthの概念の歴史的変遷

環境衛生

↓

集団対応：予防接種

↓

個別対応：治療・医学的介入

↓

（上記を含む広義の）社会・生活環境整備、
公共政策の重視へ

公衆衛生活動の流れ(1)
【中央集権型から地方分権型へ】

「直接サービスは住民に身近な自治体で」

- 慢性疾患・高齢化への対応への転換
- 国→都道府県
  都道府県(保健所)→市町村　へのシフト
- 保健所法→地域保健法(平成6年)
  　市町村保健センターの役割明記
- 地方自治法の全面改正(平成12年)
- 平成の大合併による自治体の大型化

公衆衛生活動の流れ(2)
【行政から民間へ】

「直接サービスは、民間でできるものは民間に」

- 国民生活の多様化によって、個別対応(時間・場所)が求められるようになった
- きめ細かい「サービス」としての保健活動
- 行政の効率化促進と役割分担

例)外部委託という選択肢

参考)地方自治体における保健事業の外部委託実践ガイド(2015)

公衆衛生活動の流れ(3)
【保健部門単独から多部門連携へ】

「すべての政策に健康の視点を」

- 主として保健医療以外のセクター(分野)の政策によって左右される健康の決定要因を検討する
- 保健医療以外の政策に健康改善・悪化防止の観点を盛り込む
- Social Determinants of Health(健康の社会的決定要因)
- Commercial Determinants of Health(健康の商業的決定要因:直接的または間接的に人々の健康に影響を与える民間企業の商業活動)

公衆衛生活動の一つの意義

- SDH（Social Determinants of Health：健康の社会的決定要因）：雇用、所得、教育、社会的差別、生活環境

  → 悪化により、社会格差が拡大 → 健康格差
- SDHを抜本的に改善することは、容易ではない
- 公衆衛生活動を通じて、地域の人や組織の活動を活性化させることで、SDHの影響を低減し、健康格差の拡大を防ぐことができる
- 社会において、「包摂」「誰も取り残さない」役割を果たす

社会経済的格差と健康格差

- 所得
- 教育年数
- 就業状況（業種、非正規、失業）など

- **物理的環境（居住、労働環境など）**
- **生活習慣（喫煙、食生活など）**
- **人間関係（婚姻、人的ネットワークなど）**
- **社会サービス（医療・保健・福祉など）**
- **ストレス　など**

健康格差

公衆衛生活動における市民参加促進の背景

1. 高齢化の進展
2. 「制度」への不安
3. 行政のキャパシティの限界
4. 市民社会の担い手の成熟と多様化
5. 市町村合併の経験
6. 防災、貧困への問題意識
7. 地縁に加えて、志縁、ビジネスへの流れ

今後の公衆衛生行政及び政策の方向性

1. 本質的な意味での市民参加・協働
2. 官民・分野・職種を超えた協働
3. 医療分野との関係強化（安全・質、計画）
4. 健康危機管理の重視（災害、感染症、食中毒など）
5. 健康格差解消への努力
6. ICT、大規模データの利活用促進
7. 保健医療以外の政策への関与

これから必要とされる人材は？

- 垂直方向（国際～市町村）、水平方向（保健、医療、福祉、経済など）に幅広く関心を持ち、新しいニーズを見出すことができる
- 他の部門と実効性のある連携協力ができる
- 科学的根拠を事業や政策に活用できる
- 公平性、格差に関する配慮ができる
- 疫学・統計に加えて、様々な方法論を活用できる。

公衆衛生のおもしろさ

- 患者の数を減らせる（臨床は死者を減らす）
- システム（法律・制度・リソース）を整えるという方法を用いて、社会を変えることができる
- 根本原因がわからなくても、対処することができる（対処しなければならない）
- より多くの人々に裨益することができる
- 医学以外の方法論や価値観を導入することができる
- 多角的・長期的な視点が身につく

AIと公衆衛生の課題

- AI 技術の社会的発展と、それに対する公衆衛生現場における技術利活用の遅れのギャップ
- 生成AI の不正利用・悪用に伴う公衆衛生上のリスク
- AI の発展に伴う労働代替・職業転換と公衆衛生上の課題

出典：日本公衆衛生学会 公衆衛生モニタリング・レポート委員会. 2025/26年度公衆衛生モニタリング・レポート年次報告書. 2026年10月. p58-62.

これからの時代はどういう時代か